

敦賀市立東浦中学校 保護者の皆様へ

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果分析と今後の対策

本年4月15・17日に、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校の3年生の各教科の正答率を県平均や全国平均と比較し、結果を分析するとともに、今後の対策を以下のようにまとめましたのでお知らせします。

国語科

【良好】

- ・目的に沿って整理した情報を、分かりやすいように表現を工夫すること。
- ・文章全体と部分の関係に注目し、登場人物の設定を読み取ること。

【課題】

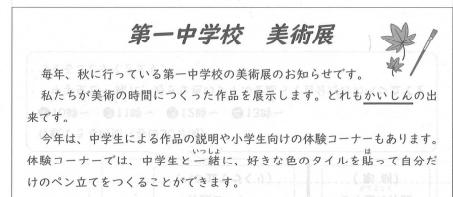
- ①文脈に即して漢字を正しく使い分けたり、事象を表す語彙を言い換えたりすること。
- ②資料や根拠を明確にして、自分の考えを持つこと。

【対策】

- ・熟語を使った短文づくりや物語を、異学年集団に紹介する活動等を通して、多くの漢字や多様な表現に出会う機会を増やす。
- ・自分の体験や学習の振り返り活動を継続し、自分ならどうしたか、次はどうするか等を考える習慣がつくようにする。また、課題やテーマに対して『こう思う理由は何か』と問い合わせながら、具体例を挙げる学習を行う。

【課題①】の設問（漢字）

【ちらし】



一 中井さんは、【ちらし】の一線部「かいしん」を漢字に変換しようとしています。漢字に変換したものとして最も適切なものを、次の1から3までの中から1つ選びなさい。

- 1 会心
- 2 改心
- 3 改新

【課題①】の設問（語彙）

三 一 線部②「しきりと」の意味として最も適切なものを、次の1から4までのなかから1つ選びなさい。
4 3 2 1 寂しげに
改めて今までの寂しげな感覚が少しあります。この寂しげな感覚が、これまでの寂しげな感覚よりも少し違うところがあります。
何度もこの寂しげな感覚が少しあります。この寂しげな感覚が、これまでの寂しげな感覚よりも少し違うところがあります。
寂しげに

注意深く

【課題②】の設問

四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の〔 〕の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでのなかから1つ選び（どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません）、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の〔 〕

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉



【工夫の仕方】

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。(→「私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。」)
- B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、〔 〕の内容を具体的に取り上げて書くこと。

※R7全国学調「国語」より

【良好】

- ・多角形の外角の意味を理解すること。
- ・事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ること。
- ・証明を振り返り、新たに分かることを見いだすこと。

【課題】

- 「思考・判断・表現」を問う問題の正答率が低い。
- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明すること。
 - 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。
 - 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。
 - 統合的・発展的に考え、条件を変えた場合について、証明を評価・改善すること。
 - ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。

【対策】

次のような取組を充実させ、思考力・判断力・表現力の向上を目指します。

- 文字を用いた式のよさを実感できるように、偶数や奇数、○の倍数、連続する3つの整数等の表し方や、説明の仕方の手順を確認し、数学的な表現を用いた説明に慣れるようにする。
- データの活用に関する学習用語や、複数のデータを扱った際の判断のポイントになる代表値を用いた説明の仕方を確認し、根拠を明らかにして説明できるようにする。
- タブレットを活用して各生徒が図形を操作して、成り立つと予想される図形の性質を見出す活動を取り入れたり、他の図形に変えた場合はどうなるかを考えたりして、統合的・発展的に考察できるようにする。

【課題①】の設問

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 n を整数として、連続する2つの3の倍数を $3n$ 、 $3n+3$ と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。「△」→「△△」→「△△△」→

結菜さんの式の変形	太一さんの式の変形
$3n + (3n + 3)$	$3n + (3n + 3)$
$= 3n + 3n + 3$	$= 3n + 3n + 3$
$= 6n + 3$ <small>交叉律則の逆用</small>	$= 6n + 3$ <small>分配律則の逆用</small>
$= 3(2n + 1)$	$= 2(3n + 1) + 1$

結菜さんの式の変形の $3(2n + 1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」とことがわかります。

太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「△は、△△である」という形で書きなさい。

【課題②】の設問

(3) 結菜さんは、連続する2つの3の倍数を、連続する3つの3の倍数に変えた場合、その和がどんな数になるかを調べました。

参考例 3、6、9 のとき	$3 + 6 + 9 = 18 = 9 \times 2$
6、9、12 のとき	$6 + 9 + 12 = 27 = 9 \times 3$
9、12、15 のとき	$9 + 12 + 15 = 36 = 9 \times 4$

結菜さんは、これらの結果から次のことを予想しました。

予想
連続する3つの3の倍数の和は、9の倍数になる。

上の予想がいつでも成り立つことを説明します。下の説明2を完成しなさい。

説明2

n を整数とすると、連続する3つの3の倍数は、
 $3n$ 、 $3n+3$ 、 $3n+6$ と表される。
それらの和は、

$$3n + (3n + 3) + (3n + 6) \\ =$$

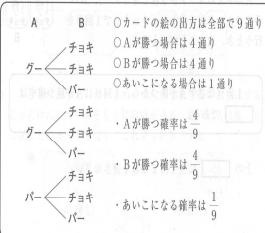
【課題③】の設問

(2) 優斗さんと芽依さんは、手元のカードの総によっては、Aが必ず勝ったり、Bが必ず勝つことがあることに気づきました。そこで、二人は、手元のカードがいろいろな場合で、AとBのそれぞれの勝ちやすさについて考えることにしました。

まず、Aの手元のカードが「グー」、「グー」、「パー」の3枚、Bの手元のカードが「チョキ」、「チョキ」、「パー」の3枚で、AとBのそれぞれの勝ちやすさについて調べることにしました。



調べたこと



優斗さんと芽依さんは、前ページの調べたことをもとに話し合っています。

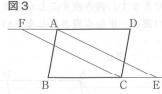
優斗さん「AとBの勝つ確率は、どちらも $\frac{4}{9}$ だから、勝ちやすさは同じだね。」

芽依さん「手元のカードが3枚ずつのとき、カードの総によって、AとBのどちらかが勝ちやすかったり、勝ちやすさが同じだったりするね。」

優斗さん「AとBの手元のカードの枚数が違うとき、勝ちやすさはどうなるのかな。」

【課題⑤】の設問

(3) 次の図3のように、平行四辺形ABCDの辺BC、DAを延長した直線上に、BE = DFとなる点E、Fをそれぞれとります。



このとき、四角形FCEAは平行四辺形になります。このことは、次のように証明できます。

証明2

平行四辺形の向かい合う辺は平行だから、

$$AD \parallel BC$$

よって、 $FA \parallel CE$ ①

平行四辺形の向かい合う辺は等しいから、

$$AD = BC$$

仮定より、

$$DF = BE$$

②、③より、

$$DF - AD = BE - BC$$

④より、

$$FA = CE$$

①、⑤より、

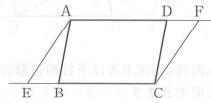
1組の向かい合う辺が平行でその長さが等しいから、

四角形FCEAは平行四辺形である。

【課題④】の設問

(2) 次の図2のように、平行四辺形ABCDの辺CB、ADを延長した直線上に、BE = DFとなる点E、Fをそれぞれとつても、四角形AECFは平行四辺形になります。このことは、前ページの証明1の一部を書き直すことで証明できます。書き直すことが必要な部分を、下のアからオまでのなかから1つ選び、正しく書き直しなさい。

図2



さらに、次の図4のように、辺ABと線分FCの交点をG、辺DCと線分AEの交点をHとすると、四角形AGCHも平行四辺形になります。

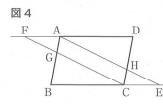


図4において、四角形AGCHが平行四辺形になることは、2組の向かい合う辺がそれぞれ平行であることを示すことで証明できます。四角形AGCHが平行四辺形になることを証明しなさい。ただし、四角形FCEAが平行四辺形であることはすでにわかっていることじます。

※R7全国学調「数学」より

理科

【良好】

- ・地層や水、生き物に関する問題の正答率が、県および全国平均を上回っている。
- ・自分の考えをまとめたり、理科の知識を用いて身のまわりの事柄を考える力が育っている。

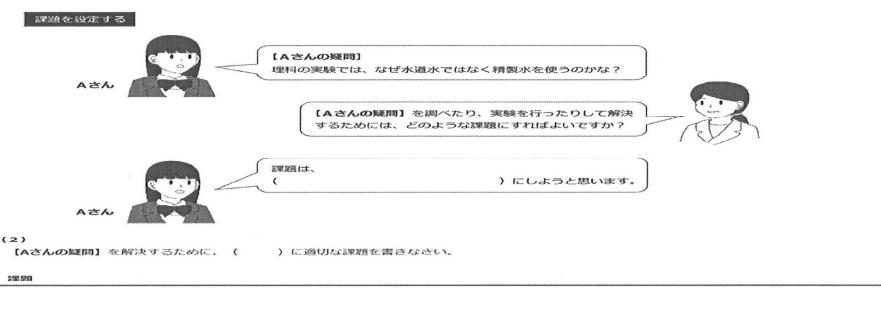
【課題】

- ①日常の疑問から出発し、疑問を科学的な課題として自ら設定する力が弱い。
- ②元素記号や化学変化の表現に関する基礎知識と技能の理解が不十分である。
- ③実験結果をもとに、原子や分子の動きをモデル化して表すことが苦手である。

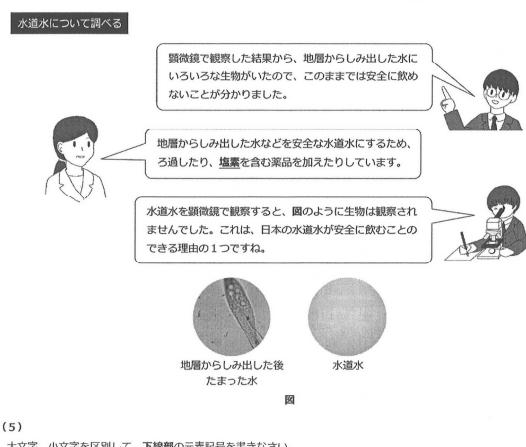
【対策】

- ・身近なテーマ（料理、気象、日用品など）を授業のはじめに取り入れる。
- ・探究活動を授業に組み込み、「問い合わせ → 仮説 → 検証」のサイクルを体験させる。
- ・カードゲームやクイズ形式を活用し、元素記号や化学式を楽しく習得できるようにする。
- ・元素周期表の視覚教材や動画コンテンツを活用し、理解を定着させる。
- ・ICTを活用したシミュレーション教材などにより粒子の動きを視覚化し、イメージの定着を図る。

【課題①】の設問



【課題②】の設問



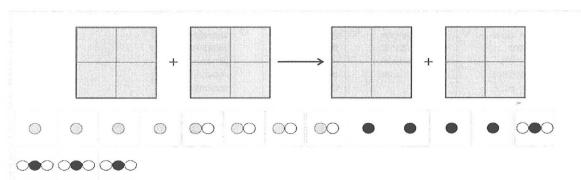
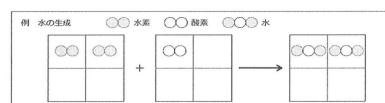
(5) 大文字、小文字を区別して、下線部の元素記号を書きなさい。

解答欄: _____

【課題③】の設問



(2) マグネシウム原子○、二酸化炭素○○○、酸化マグネシウム○○○、炭素●と表したとき、下線部の化学変化はどのように表すことができますか。「例 水の生成」を参考にして、□で子式を移動させて、化学変化をモデルで表してください。

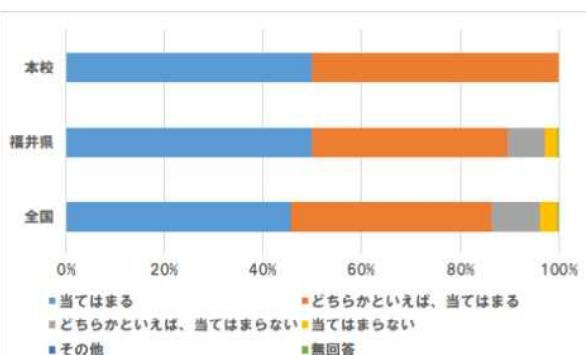


※R7全国学調「理科」より

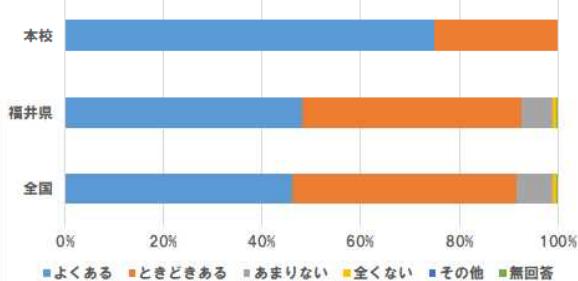
生徒質問紙

【良好】

学校に行くのは楽しいと思いますか。



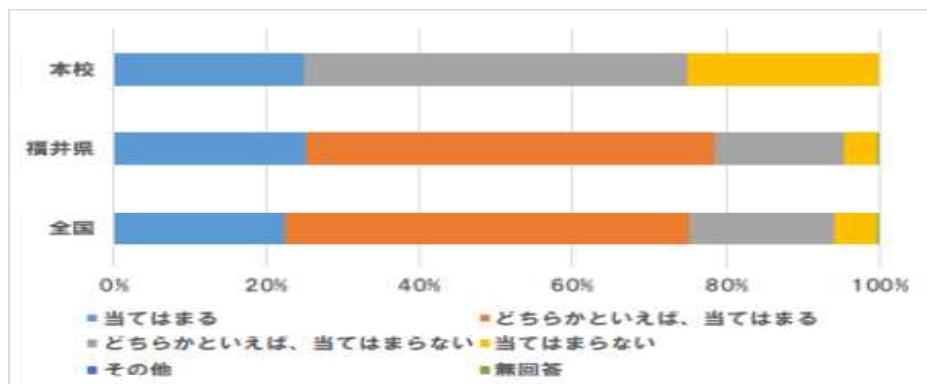
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



「学校に行くのは楽しい」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」といった、良好な回答が得られました。生徒たちが学校に対して前向きな気持ちを持ち、日々の生活の中でも幸せを感じていることがうかがえます。これは、友だちや教員との良好な関係、学校行事や授業の充実感、家庭での温かな支えなど、さまざまな要因が重なった結果と考えられます。今後も、生徒一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

【課題】

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対し、「あまり思わない」、「思わない」と回答した生徒が多く見られました。これは、地域や社会とのつながりを実感する機会や、自分の行動が社会に良い影響を与えるという感覚や経験を持つ機会が少ないことが一因と考えられます。今後はより一層、地域活動への参加機会の充実や、生徒自身が主体的に関わるプロジェクトの導入を通じて、社会への关心と意欲を育む取組を進めてまいります。

ご家庭でも、地域や社会について話題にしていただくことで、子どもたちの視野を広げるきっかけとなります。これからも、家庭・地域・学校の連携を大切にしながら、一人一人の生徒の健やかな成長のために学校全体で取り組んでいきます。

今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。